【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和6年3月27日(2024.3.27)

【公開番号】特開2022-44009(P2022-44009A)
【公開日】令和4年3月16日(2022.3.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-047
【出願番号】特願2021-140048(P2021-140048)
【国際特許分類】
Ｂ３１Ｂ 50/16(2017.01)
【ＦＩ】
Ｂ３１Ｂ 50/16

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月18日(2024.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
第２態様の段ボールシート供給装置では、長尺段ボール素材を切断する前に、その切断される位置よりも上流側の切断位置周辺に所定の折り目が存在するか否かを検出し、折り目が有ることが検出されると、長尺段ボール素材の先端から、その折り目を含む第３の長さで該長尺段ボール素材が切断される。これにより、長尺段ボール素材の先端部分に所定の折り目が存在するという状態がなくなり、段ボールブランク製造装置に導入される長尺段ボール素材の先端が折れ曲がることが防止される。このため、長尺段ボール素材のスムーズな搬送が可能となる。また、上記構成において、折り目送りシート切断は、段ボールシートを切り出すための切断と、折り目を除去するための切断の両方を兼ねているため、両者の切断処理が一度で済み、段ボールシートの供給効率を向上させることができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６６】
ステップ４０２において、スキャン領域３３０に接合部６１２が存在すると判断されなかった場合（Ｎｏ）、制御部５０は、長尺段ボール素材６１を長さＤ５’だけ搬送し（ステップ４０６）、接合部６１２の検出回数Ｎを１増加させる（ステップ４０７）。そして、長さＤ５’と検出回数Ｎの積（Ｄ５’×Ｎ）がシート長Ｄ３よりも短い場合は（ステップ４０８にてＮｏ）、ステップ４０１に戻り、再び、接合部６１２の特徴の有無を検出する。一方、長さＤ５’と検出回数Ｎの積（Ｄ５’×Ｎ）がシート長Ｄ３よりも長い場合は（ステップ４０８にてＹｅｓ）、駆動部１３を制御して搬送ローラ１２を正方向又は逆方向に回転させて、長尺段ボール素材６１の先端からの長さがＤ３となる箇所が第１切断部３０の切断位置にくるように調整した後（ステップ４０９）、切断刃３１を下降させて段ボールシート６２を切り出す（ステップ４１０）。